

古事記編纂1300年を迎えて

〜出雲の魅力再発見・一人ひとりがおもてなし〜

出雲市では平成24年の古事記編纂1300年を記念して開催される「神話博しまね」や、平成25年の出雲大社「平成の大遷宮」を契機に、出雲の魅力を再発見し、訪れる方を「おもてなし」の心でお迎えする観光振興に取り組んでいます。このコーナーでは、地域で取り組むおもてなし・まちづくりを紹介いたします。

「神話博しまね」市町村デーで出雲市の芸能や特産品を紹介

7月21日に開幕した「神話博しまね」が11月11日に閉幕しました。

その閉幕間近の11月3日と4日の両日、市町村デーとして、出雲市の郷土芸能や特産品・グルメで来場者をもてなしました。



しまね魅力発信ステージでは、市の郷土芸能である「神西神代神楽」、「赤塚神楽」、「乙立神楽」、「外園神楽」、「窪田神楽社中」による出雲神楽や、「荒茅盆踊り保存会」、「差海神事舞保存会」による舞踊、「出雲歌舞伎むらくも座」による歌舞伎を披露しました。特設会場は多く

の来場者で賑わい、立ち見が出るほどの盛況となりました。



また、特産品・グルメのブースには、出雲商業高等学校、出雲農林高等学校、東友会、いずも農業協同組合、斐川町産地強化協議会の5団体が出品しました。

出雲商業高校は、ZENZAIロール等、業者と共同で開発した商品を販売し、出雲農林高校は、自分たちで栽培した野菜や加工品を販売しました。また、いずも農協は、西条柿等の試食を行ったほか、いちじく、西浜いもなどの農産物や加工品を販売し、斐川町産地強化協議会は、つるつる手延べうどんの試食やねぎ焼き

の実演販売のほか、特産のはと麦、ひまわり、トマトなどの加工品を販売しました。さらに、東友会が大鍋で煮込んだ具だくさんの豚汁を振る舞いました。

来場者は列をつくって出雲の特産品を買い求め、熱々の豚汁やはと麦入り珈琲、ねぎ焼き等に舌鼓を打っていました。市外から訪れた方々だけでなく、地元の方々にも改めて出雲の魅力を発見していただく機会となりました。

「出雲産業フェア2012」でキャラクターの出雲観光大使就任披露

同じく11月3日と4日に、出雲ドームでは「出雲産業フェア」が開催されました。このフェアのステージで、3日、今年出雲観光大使に就任した市内のキャラクターが集まり、今後の意気込みを語りました。

今年出雲観光大使に就任したのは、「おんすうふらたろう君」、「湯上り美人姫やがみちゃん」、「タキシードマウス」、「よすみちゃん」、「みことくん」、「ひめちゃん」の6体で、この日、市長から委嘱書と「出雲観光大使」タスキが授与されました。

このうち、「雲州平田」の出雲弁「おんすうふらた」からネーミングされ、平

田にゆかりのある「弁慶」をモチーフにしている「おんすうふらたろう君」は、「地元出雲が活性化して市民の皆さんに元気を出してもらえるよう



に、また幅広く活躍して全国に向けて観光PRをして、出雲つて素晴らしいねと言われるように頑張ります。みなさん応援をよろしくお願いします。」と意気込みを語りました。

出雲大社周辺を主会場とする「神話博しまね」は閉幕しましたが、出雲市は、来年の出雲大社「平成の大遷宮」等で多くの来訪者をお迎えます。私たち一人ひとりが、出雲観光大使に就任したキャラクターたちに負けないよう、「出雲」の魅力でPRし、来訪者をおもてなしの心でお迎えしましょう。

おたすね／観光交流推進課 ☎065888

大好き☆出雲! vol.8 通信

～発見! 発信! とっておきの 場所・人・もの～
出雲ブランド化推進の情報を連載します。

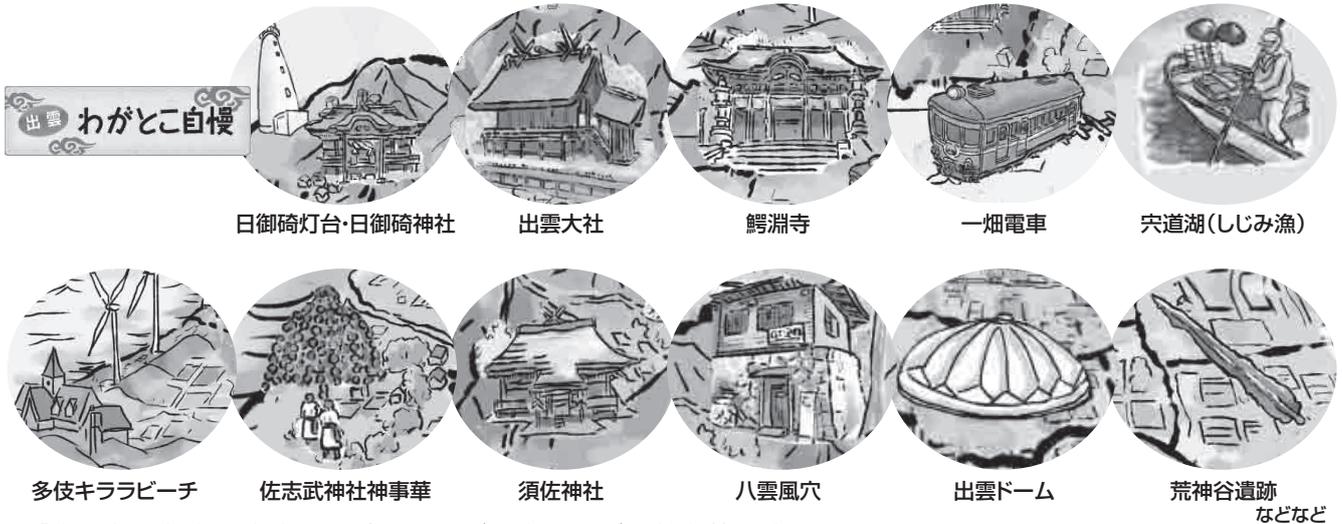
～出雲の真のブランド化～

私たちが住む“出雲”をあらためて感じ、愛着や誇りを抱きながら伝えていき、さらに高めていくこと。出雲ブランドは、この地域の身近にあるさまざまな魅力によって形づくられるもので、地域そのものとも言えます。

“出雲”らしさは、これからお迎えするたくさんの来訪者への大切な“おもてなし”。誰もが大切にしたい“出雲”の思い出を心に残すこと。そして、次代を担う子どもたちに引き継ぐ地域づくりの取組です。

出雲の魅力再発見の種 出雲ブランド それは地域そのもの!

「地域の自慢」どんどん情報をご提供ください。



「出雲」は魅力の宝庫。地域のお話が、実はすごく魅力的な物語です。

「出雲 わがとこ自慢」は、皆様から、その素晴らしい地域をぜひご紹介いただきたいとの思いで「大好き☆出雲! ホームページ」に開設したコーナーです。コミュニティセンター・公民館ごとの43ページを、皆様からの地域自慢の投稿で、盛り上げていきましょう。

出雲ブランド化推進市民委員会では、コミュニティセンター等への訪問取材をスタートさせ、お手紙等でも地域自慢をお寄せいただけるよう「出雲ブランドポスト」をコミュニティセンター等に設置しています。

「地区別わがとこ自慢」にいただいた投稿等を基に出雲の物語を2つ紹介します。

■「出雲のシンデレラ姫」のお話(朝山地区)

「五輪」と聞くと、今年はロンドンオリンピックを連想する方も多いのでは。出雲の「五輪さん」は、朝山の金剛峰寺大坊に造られたお墓が五輪の塔であるため、そう呼ばれることとなった「吉祥姫」のことです。出雲のシンデレラ物語の主人公で、岩根寺に祈願して授かった玉のような娘が、時の帝(光仁天皇)の夢のお告げで、召されてお妃「吉祥姫」となられる物語です。



■月照寺(松江市)の大亀の親岩のお話(久多美地区)

小泉八雲の随筆にて、「母岩恋し、久多見恋し…」と、町中を暴れ回った「久多見石」で作られた松江「月照寺」の大亀。不昧公は、大亀のふるさと「久多美」にある縦横約4mの巨大な親岩に「延命地藏尊」を掘らせ、いわゆる留石として、何人もこれを切り取ることを禁じました。



～ 出雲には、いろいろな物語がたくさん残っています。 ～

大好き☆出雲! バッジ 出雲ブランド室で発売中(1個150円) バッチをつけて一緒に「出雲」を盛りあげましょう!

おたずね/出雲ブランド化推進市民委員会(大好き☆出雲!倶楽部)事務局 <http://www.daisuki-izumo.jp/> 出雲ブランド室 ☎21-6274